

まちづくりの柱

5

安心して子どもを 産み育てられる まち



施 策



1. 安心して産み育てるための支援
2. 仕事と子育ての両立支援
3. みんなで支える子育て
4. 未来を担う人づくり
5. 地域を支える人づくり

重 点 項目

- 妊娠期から子育て期にわたる相談・支援の充実や、保育所の待機児童の解消など、共働き家庭等が安心して子育てできる環境の整備を推進し、少子化の抑制を図ります。
- 将来の Society5.0 時代を見据え、その担い手となる子どもたちに必要な資質である情報活用能力の育成や、ICTを活用した学習活動の充実を図ります。
- 学校、地域、家庭、関係団体等が連携・協働し、地域一丸となって子育て支援や子どもたちの教育に取り組みます。

関連指標

指 標	基 準 値 (基 準 年 度)	目 指 す 方 向
子育てしやすい環境にあると感じている市民の割合	74.7% (H30)	➡ UP
保育所入所待機児童数	15人 (R1)	➡ DOWN
特色ある教育が行われていると感じている保護者の割合	87.6% (R1)	➡ UP

安心して 産み育てるための支援

現状と課題

- 本市における出生数の推移は減少傾向が続いていることから、出会い、結婚、妊娠・出産を望む市民の希望を叶えるための支援が求められます。
- 核家族化や地域のつながりの希薄化など、地域において妊産婦やその家族を支える力が弱くなっていることから、産前産後のケアや母子保健の充実など、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に取り組むことが求められます。
- 多様な悩みを抱える子どもや保護者が孤立することがないよう、精神的、経済的な不安や負担を軽減するための支援が求められます。



方向性

動き出す 創り出す

誇りと つながり

心も体も 元気で健康

- 出会い、結婚、妊娠・出産を望む市民への支援に取り組みます。
- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に努めます。
- 多様な悩みを抱える子ども・保護者への支援を充実させます。

関連する SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

	取組	内容
1	出会い、結婚、妊娠・出産を望む市民への支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 出会いの相談の実施や結婚・婚活に関する情報の発信などにより、結婚を望みながらもその相手に巡り合えていない方の結婚に向けた活動を支援します。 ▶ 子どもを授かりたいと願う夫婦を支援するため、不妊・不育症治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図ります。 ▶ 若年世代に向けて、妊娠・出産に関する正しい知識の普及・啓発に努めます。
2	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子育て世代包括支援センターを拠点として、妊娠期から子育て期にわたる相談をワンストップで行うとともに、関係機関や民間団体等との連携のもと、多様なニーズに対応した支援に努めます。 ▶ 産前・産後サポート事業や産後ケア事業により、妊娠婦等への支援を強化するとともに、父親の育児参加を積極的に促すなど、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めます。 ▶ 妊婦・産婦健康診査、乳幼児健康診査等の充実を図り、医療機関と連携し、妊娠婦と子どもの健康の保持増進に努めます。 ▶ 妊娠期から子育て期にかけた家庭訪問の充実を図り、教育・相談等を通じて乳幼児の健全な育成と保護者の育児不安・孤立感の解消に努めます。
3	多様な悩みを抱える子ども・保護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもやその保護者が安心して暮らせる生活環境の基盤を下支えするため、未熟児の医療費の助成や、難病や障害を抱える子どもの保護者の経済的負担の軽減を図ります。 ▶ ひとり親家庭等の子どもたちの健全な育成を支援するため、基本的な生活習慣の習得支援や学習支援、食事の提供などを行います。 ▶ 地域支援の拠点として児童発達支援センターによる支援を充実させ、心身の発達に不安のある子どもとその保護者に対するきめ細やかなケアに努めます。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市子ども・子育て支援事業計画
- 沼津市子どもの貧困対策推進計画



仕事と子育ての 両立支援

現状と課題

- 人口減少・少子高齢化の進展に伴う経済や労働情勢等の変化により、共働き世帯が増加していることから、働きながら、安心して子育てができる環境づくりが求められています。
- 本市においては、保育の需要に対する施設の定員が全体としては上回っているものの、入所の希望が特定の地域に集中する傾向があるため、保育所等の待機児童が発生しています。
- 保育所等の待機児童の解消や、保護者の多様なニーズを踏まえたきめ細やかな子育てサービスの充実を図ることが必要となっています。
- 放課後児童クラブや子育て支援センターなどの子どもの居場所づくりと、その機能の充実が求められています。



方向性

動き出す 創り出す

誇りと つながり

心も体も 元気で健康

- 保護者が働きながら、安心して子育てができる環境づくりに努めます。
- 地域における子育てのサポート体制の充実を図ります。
- 民間保育所などへの支援により、待機児童の解消を図ります。
- 放課後児童クラブの充実などにより、子どもの居場所づくりを推進します。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
1 待機児童対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 民間施設の認定こども園への移行や処遇の改善による保育士確保の取組を支援するなど、保育定員の拡充や保育体制の充実を図る待機児童対策を実施します。 ▶ 延長保育をはじめ、休日保育、一時保育、病児・病後児保育、預かり保育など、保育所、認定こども園及び幼稚園における保護者の多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図ります。 ▶ ファミリーサポートセンター※など、子育て支援サービスの利用促進を図り、仕事と育児の両立を支援します。 ▶ 地域子育て支援拠点施設において、一時預かりや育児相談、子育て活動団体への支援などを実施し、地域における子育てのサポート体制を充実させます。 ▶ いつでも必要なときに必要な情報を得ることができるよう、あらゆるコミュニケーションツールを活用した子育て支援を促進し、子育てに不安を抱える保護者を支援します。
2 保護者を支える子育てサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 放課後児童クラブや放課後子ども教室、多様な民間団体等による預かり支援など、保護者や子どもが必要とする居場所づくりに努めます。 ▶ 放課後児童クラブについて、学校施設と連携した整備の推進や、利用者ニーズに即した運営の充実を図ります。
3 放課後児童クラブなどの居場所づくりの推進	

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市子ども・子育て支援事業計画
- 沼津市子どもの貧困対策推進計画



安心して子どもを産み育てられるまち

みんなで支える 子育て

現状と課題

- 少子化や家族形態の多様化、国際化などが進み、子育ての悩みや不安を抱える家庭の増加が懸念されており、職場における子育てへの理解の促進や、地域での子育て支援の推進が求められています。
- 全ての子どもが夢と希望をもって健やかに成長できるよう、社会全体の共通理解と協力のもとで子育てができる環境づくりが必要です。
- 子どもの貧困や虐待対策のため、関係機関が連携し、相談支援体制の充実を図ることが必要となっています。



方向性

動き出す 創り出す

- 地域、企業、家庭、学校、行政等が連携して、子育てを支援します。

誇りと つながり

- 地域と連携し、子どもの見守り体制の充実を図ります。

心も体も 元気で健康

- 子どもの貧困・虐待対策のため、関係機関が連携し、相談支援体制の充実を図ります。

関連する SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

	取組	内容
1	職場環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域、企業、家庭、学校、行政等が連携して、職場や地域社会における子育てへの理解の促進や職場環境の改善を推進します。 ▶ 職場における就労環境の見直しや男性の育児休業の取得など、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の普及を図ります。
2	地域で支える子育ての推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ SNSを活用して不審者情報などを地域住民等と共有し、子どもの見守り体制を強化するなど、地域全体で子どもを見守り、支えていきます。 ▶ 子育てサークルや自治会など、市民の自主的な子育て支援活動を支援し、地域で子育てを支える環境づくりを推進します。
3	子どもの貧困・虐待防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全ての子どもの夢と希望をもった健やかな成長を支えるため、経済的支援をはじめ、教育の支援、保護者の就労支援など、子どもの貧困対策を推進します。 ▶ 家庭での養育等、子どもに関わる様々な問題への助言や指導を充実し、子どもの健全育成、権利保護及び福祉の向上を図ります。 ▶ 子育て世代の不安を解消するとともに、児童虐待を防止するため、国・県や地域、教育、社会福祉、民間等の関係機関と連携して相談支援体制の強化を図ります。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市子ども・子育て支援事業計画
- 沼津市子どもの貧困対策推進計画
- 沼津市男女共同参画基本計画



安心して子どもを産み育てられるまち

未来を担う 人づくり

現状と課題

- 変化の激しい時代において、子どもたちが心豊かに生きていくためには、自ら課題を見つけ、考え、解決するための資質・能力等を育成する必要があります。
- 目指す子どもの姿を学校、地域、家庭とで共有し、一体となって地域総がかりで未来を担う子どもたちの豊かな成長を支えていく必要があります。
- 子どもたちを取り巻く環境の変化や、学校が抱える課題が複雑かつ多様化するなか、教員がしっかりと子どもたちに向きあう時間を確保し、教育の質の充実を図る必要があります。
- 学校規模・学校配置の適正化及び学校施設の適切な維持管理を図り、学習環境の充実や、安全で安心して学べる環境づくりを進めていく必要があります。



方向性

動き出す 創り出す

- 急速な情報社会の進展に対応できるよう、ＩＣＴなどを活用した教育を充実させます。
- 教育環境の整備、教育の質の更なる充実を図るために、市内小中学校の規模及び配置の適正化等に努めます。

誇りと つながり

- 目指す子どもの姿を共有し、学校、地域、家庭との連携・協働による地域総がかりの教育を進めます。

心も体も 元気で健康

- 変化の激しい時代を生き抜く力を身に付けられる特色ある学校教育を推進します。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

1

特色ある
学校教育の推進

取組

内容

- ▶ 全教職員が目指す子どもの姿を共有し、小中一貫教育や中高一貫教育による系統性や継続的指導等の特色ある授業や行事を実践する事業の充実を図り、魅力ある学校づくりに取り組みます。
- ▶ 子どもたちが変化の激しい社会やグローバル化の進展に対応できるよう、言語教育の更なる充実により表現力と読解力を育成し、確かな知性を育みます。
- ▶ 日常的に英語に親しむことで、「国際感覚を豊かにする教育」の推進を図ります。
- ▶ 特別支援学級等の連続性のある多様な学びの場を適切に設置し、障害のある子と障害のない子がともに学ぶ機会の充実に努めるとともに、お互いを尊重し支え合う心を育み、豊かな人格を形成するなど、インクルーシブ教育※システムを推進します。
- ▶ 多様な子どもたちへの支援を行うため、各種支援員の配置や地域人材の活用、学校事務の効率化など、学校における働き方改革を進め、教職員が授業に専念できる環境を確保します。
- ▶ Society5.0時代を生きる子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりの資質や能力を一層確実に育成するため、ＩＣＴを活用した新たな教育活動を推進することにより、子どもたちが情報及び情報手段を主体的に活用できる能力を育成します。

2

学校規模・
学校配置の
適正化等の推進

- ▶ 少子化が進むなかにおいても、子どもたちにとってよりよい教育環境と質の高い教育を提供するため、学校規模・学校配置の適正化を推進します。
- ▶ 子どもたちが安全・安心で充実した学校生活を送ることができるよう、学校施設の長寿命化改修などの施設整備を行います。

3

幼児・
学校教育、
地域、家庭との
連携

- ▶ 職員の研修の充実などにより、教育の質の向上に取り組むとともに、子どもたちの、相手を思いやる心や感動する心といった豊かな人間性や心身の健やかな成長を育むため、幼児期からの各種教育機関、地域、家庭との連携を図ります。
- ▶ 目指す子どもの姿を学校、地域、家庭とで共有し、地域総がかりで子どもの豊かな成長を支えるための仕組みづくりに努めます。
- ▶ 地域性や学校の独自性を活かした特色ある教育活動を推進するため、必要とする支援員の配置や、地域交流の推進と外部人材の活用を図る事業を支援し、児童生徒の教育の充実を図ります。

安心して子どもを産み育てられるまち

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市教育大綱
- 沼津市教育基本構想

地域を支える 人づくり

現状と課題

- 取り巻く環境や時代の変化に伴うライフスタイルの多様化などにより、自分の時間を大切にしたいといった新たな価値観が生まれています。
- 社会の複雑化、家族形態の多様化などを背景として、青少年の人間関係の希薄化や社会体験不足、コミュニケーション能力の低下などが懸念されることから、青少年の自立性や社会性、創造性を育むことが重要です。
- 性別や年齢、経済的な事情などにとらわれない、全ての人の生涯にわたる学習活動を支援するため、様々な学習の機会の提供や自主的な学習環境の充実を図ることが求められます。

方向性

動き出す 創り出す

誇りと つながり

心も体も 元気で健康

- 青少年の成長過程に合わせた健全育成を進めます。
- 地域を学ぶ機会の拡大に努め、郷土への愛着と誇りの醸成を図ります。
- 異年齢集団の体験活動の機会の拡大に努めるなど、青少年が社会や地域との関わりを深める取組を推進します。
- 価値観の多様化やライフスタイルの変化などに対応した生涯学習環境の充実を図ります。

関連する SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

	取組	内容
1	青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 青少年それぞれの年代にふさわしい、自主性、社会性、創造性等を高める取組を推進し、青少年の健全育成に努めます。 ▶ 地域ぐるみでの見守り活動を推進し、継続的に青少年健全育成を進めます。 ▶ 様々な理由で社会との関わりが少なくなっている青少年に寄り添いながら、社会的な自立のための支援に努めます。
2	生涯学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者への学びの機会の提供や市民の自発的な学習の場の充実を図るなど、より多くの人が参加する仕組みづくりや、福祉分野との連携・協力を推進します。 ▶ 幅広い分野の図書館資料を収集、整理及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することにより、市民の精神的な豊かさの充実や、知的欲求の充足を図ります。 ▶ 子どもから高齢者まで市民の誰もが身近な場所で充実した自主的な学習活動を行えるよう、電子書籍の導入等、図書館サービスの電子化を図るなど、図書館機能の充実に努めます。 ▶ 言葉を学び、想像力を豊かにし、感性を磨くために重要な読書活動などを成長過程に応じて支援することにより、子どもの豊かな人間性の育成に努めます。
3	郷土への愛着と誇りの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の文化や歴史、自然、産業などを再発見し、その魅力や強みを发掘する機会を増やすなど、地域住民が地域を学ぶ機会を拡大します。 ▶ 郷土への愛着と誇りを醸成し、主体的に地域を支え活躍できる市民の育成に取り組みます。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市子ども・子育て支援事業計画
- 沼津市教育大綱
- 沼津市教育基本構想

